

【開催主旨】

第4回木曾川上流水防災協議会（岐阜ブロック）を開催し、改正水防法に基づく法定協議会に改組するとともに、沿川の自治体や県、国等が連携・協力して、減災のための目標を共有し、ハード・ソフト対策を一体的かつ計画的に推進するための取組方針のフォローアップを実施しました。また、意見交換において羽島市長、瑞穂市長、養老町長、輪之内町長、安八町長、岐阜県河川課長より取組事例についてご紹介いただきました。

【開催概要】

開催日：平成30年5月10日（木）

会場：岐阜都ホテル 2階 ボールルームB

出席者：岐阜市長、美濃市長、羽島市長、瑞穂市長、郡上市長、養老町長、神戸町長、輪之内町長、安八町長、揖斐川町長、大野町長、北方町長、坂祝町長、大垣市、美濃加茂市、各務原市、可児市、本巣市、海津市、岐南町、笠松町、垂井町、池田町、揖斐川水防事務組合管理者、木曾川右岸地帯水防事務組合、岐阜県危機管理部、岐阜県県土整備部、岐阜県岐阜土木事務所長、岐阜県大垣土木事務所長、岐阜県揖斐土木事務所長、岐阜県美濃土木事務所長、岐阜県可茂土木事務所長、岐阜県郡上土木事務所長、岐阜地方気象台長、（独）水資源機構中部支社事業部長、新丸山ダム工事事務所、木曾川下流河川事務所、木曾川上流河川事務所長

議 事：①水防法改正に伴う法定協議会への移行について
②木曾川上流水防災協議会における取組みのフォローアップ等について
③意見交換

○取組事例の紹介

羽島市 松井市長、 瑞穂市 棚橋市長、 養老町 大橋町長
輪之内町 木野町長、 安八町 堀町長、 岐阜県 井上河川課長



【協議会スケジュール】

- 第1回協議会 ※協議会立ち上げ
・岐阜ブロック（平成28年5月12日）、愛知ブロック（平成28年7月5日）
- 第2回協議会 ※取組方針の策定
・岐阜・愛知ブロック合同開催（平成28年8月29日）
- 第3回協議会 ※水防法改正に伴う今後の展開、取組のフォローアップ、意見交換等
・岐阜ブロック（平成29年5月11日）、愛知ブロック（平成29年8月10日）
- 第4回協議会 ※水防法改正に伴う法定協議会への移行、取組のフォローアップ、意見交換等
・岐阜ブロック（平成30年5月10日）、愛知ブロック（平成30年7月開催予定）

第4回木曾川上流水防災協議会
（岐阜ブロック）の開催状況

【松井羽島市長】



- ・羽島市では、平成25年度より防災コーディネーター養成講座(防災士養成事業)を開始し、登録料を除く費用の全てを市が負担する形で展開しており、平成29年度までに230名(うち女性62名)の防災コーディネーターが誕生している。また、平成29年度からは受講資格を中学生以上としたことで、中学生2名、高校生1名の方に防災士の資格を取得していただいた。
- ・今後の展開としては、防災士の資格取得にとどまらず、地域防災の担い手として、地域の自主防災組織等に積極的に関与していただきたいと考えており、現在140名の方々により羽島市防災研究会が設立され、小中学校等の大型避難所において、その特性に応じた避難所の設営等に関与されている。
- ・2つの学区の市民運動会において、水防・消防等の様々なカテゴリーを加えた種目を運動会に追加し、実施された。今後は全ての小中学校区に波及することを強く期待している。
- ・木曾川上流河川事務所においては、大型災害発生時の緊急物資輸送のための名神高速道路と河川堤防との緊急開口部の整備工事や、防災船着場の整備、河川敷の樹木伐採など実施いただき、深く感謝する。

【棚橋瑞穂市長】



- ・瑞穂市の紹介として、岐阜県の21ある市のうち一番面積が小さい市ではあるが、人口密度は岐阜市について2番目である。市内の約5km四方の中に一級河川が18河川もあり、輪中が多いまちであるため、水とは長い間戦ってきた。
- ・昨年の10月の台風21号によって、改めて水に対する恐ろしさに目覚め、市民の皆様にも知っていただくことを始めている。その中でも、現在では東京ドーム2個分の水を貯めることができるまで容量が拡大され、この街を大きく救っている犀川遊水地事業について市民の皆様を知っていただきたく、市制15周年事業として5/5(土)、6(日)の2日間、さい川さくら公園においてウォータフロント、野外ロックフェスや地元出身の俳優によるトークショーなどを開催し、約1万名の方々に参加いただき、犀川遊水地について紹介させていただいた。やはり、多くの方にまずは犀川遊水地について知っていただくことが大切である。
- ・防災教育に関する取組としては、小学校への出前講座や、保育園への女性消防団員による防災啓発活動等を実施した。
- ・職員の研修としては、木曾川上流河川事務所の協力により、2日間にわたり職員・市議会議員合計51名が流水管理センターを視察した。また、災害対策車両の見学や昨年の浸水現場の確認等の減災に向けた勉強会を実施した。

【大橋養老町長】



- ・養老町は、急峻な養老山地で標高800m地帯から海拔0m地帯まであり、輪中も多く存在し、過去より河川氾濫や土砂崩れ等の自然災害が度々発生している。特に、伊勢湾台風(昭和34年)には、牧田川が2度にわたって決壊しており、町の約2/3以上が1ヶ月以上水に浸かったという被害を経験しているが、洪水による被害者(死者)は出なかった。
- ・当時の方々には水害に対して常に警戒して生活していたが、現在では河川改修が進み、危機意識が非常に希薄化していることが懸念され、今洪水が起きたときに被害を抑えられるのかと危惧している。そのため、日頃からの備えが被害の拡大防止につながるものと考え、住民の防災意識向上へ向けた事業を展開している。
- ・特に、小中学生のときからの防災教育が重要と考え、昨年9/1の防災の日に合わせて、東部中学校において「命を守る訓練」と題した出前講座を実施した。全校生徒約410名が参加し、土嚢づくり等を体験してもらった。学校側からは、「災害時に自宅の玄関に土嚢を積めるようになった」との感想をいただき、防災意識の向上に一役買ったと感じている。
- ・養老小学校では、木曾川上流河川事務所による防災・河川環境教育が実施され、牧田川の水質・生物保全などについての講座や金草川排水機場の見学会を実施していただき、子供達の防災に対する意識の向上が図られたと感じている。

【木野輪之内町長】



- ・輪之内町は、揖斐川と長良川に挟まれた約22Km²、人口約1万人弱という小さな町であり、ハード・ソフト対策が万全とは言いがたい。そのため、ほとんどの住民が水に親しむとともに、水の怖さに対する感覚を持っている。
- ・最近の地域の防災訓練について感じることは、行政と地域で密度を深めれば深めるほど、住民が主体ではなく客体化してしまい、「なんとかなるさ」という正常化バイアスが働き、危機意識が欠けてしまっている。そのため、防災訓練等で、「自分を守れないものは他人も守れない」ということを地道に繰り返し、体に染み込ませることが重要であると感じている。
- ・輪之内町でも、木曾川上流河川事務所の事業により、名神高速道路から直接資機材等を搬出入できる河川堤防との緊急開口部が平成28年に完成しており、その効果は絶大なものと感じている。
- ・輪之内町は、地形的に洪水が起こると町内全域が浸水してしまうため、避難場所や、避難先での生活等についての検討が課題である。そのため、国の防災拠点事業と町の避難施設整備を合わせて実施していく必要がある。
- ・従前より防災士養成講座を実施しており、現在では約200名の防災士が誕生した。平成30年度からは、中学2年生を対象に実施する予定であり、資格の取得という結果よりも、講座により防災意識を根付かせていくことに重きを置いている。

【堀安八町長】



- ・安八町の防災の取り組みとして、ここ5,6年で防災士の養成を進めているが、町としては、防災士の方がどのように活躍するのかということに力点を置いている。平成29年4月より、町内各地区からバランスよく選出された精鋭13名で構成された安八防災士会を立ち上げ、毎月2回の協議会や、9月の総合防災訓練への参加等、見える形で成果を上げている。今年度は、地区の防災訓練への参加や、小学校での防災教育等、積極的に活動してもらいたいと考えている。
- ・今年3月には、国土交通省が公表した想定最大規模の洪水浸水想定区域図をもとに、安八町オリジナルのハザードマップを作成し、全住民に配布した。住民ひとりひとりの防災力を高めるための対策も重要である。
- ・安八町は昭和51年に9.12長良川水害を経験したが、その後は大きな災害に見舞われることはなく、水害を知らない町民が多くなっているのが実情であり、これまでも小学校の授業において水との戦いを題材にした授業を実施してきた。
- ・平成30年度より、木曾川上流河川事務所の取り組みである防災・河川環境教育のモデル校に選定され、町内の全3つの小学校が連携して実施している。安八町ならではの生きた教材やカリキュラムが完成し、水害を知らない世代が命の大切さを学び、町全体で災害に強い町を目指していくよう取り組みを進めている。

【岐阜県】

「井上河川課長」



- ・大規模災害を防ぐには、第一にハード整備が必要。近年の気候変動を考慮すると、ソフト対策も必要。
- ・危機管理型水位計は洪水時にのみ機能するもの。安価で容易に設置可能。設置の要望を頂き、設置後の避難への活用も含め、市町村の皆様と調整したい。
- ・中小河川の水害リスクを示すことも検討中。
- ・自助の防災意識の向上も含め、県民が避難して確実に命を守るため、国や市町村と連携して、水害対策に戦略的に取り組んでいきたい。

【木曾川上流河川事務所】
「堀事務所長」

- ・先日(4/24~25)の出水では、木曾川の今渡、長良川の忠節水位観測所で、4月としては観測史上最高水位を記録した。
- ・5/27(日)に長良川で木曾三川連合総合水防演習・広域連携防災訓練の開催を予定しており、各水防団・関係機関等と連携して実施していきたい。
- ・氾濫危険水位超過、氾濫発生の際に情報を発信する取り組みとして、緊急速報メールを活用したプッシュ型配信を木曾・長良・揖斐川で5月より開始した。
- ・引き続き、関係機関の皆様と連携して水防災意識社会を再構築することで、木曾川水系の安全・安心を確保していきたいと考えている。